

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [25] 東京都台東区立まつがや高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人東京援護協会 指定期間 H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)、身体障害者更生援護施設(3)、知的障害者援護施設(2)、福祉センター(2) 障害福祉施設(4)、隣保事業(2)、厚生施設ほか(5)、緊急一時保護事業(1)
(2) 類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター5施設
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入4,875,379,308円, 歳出4,788,293,245円, 収支差額87,086,063円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区松が谷4-4-3
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日~3日を除く) 8時30分~17時15分
(5) 規模	延べ床面積 4,671㎡のうち1,306㎡ ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち2階の一部
(6) 人員体制	27名 内訳…事務員(1)、相談員(3)、介護職員(常勤13、非常勤7)、看護職員(常勤3、非常勤2)、栄養士(1)

3. 事業(サービス提供)の概要

(1) 委託事業	①通所介護サービス(送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等)、②介護予防通所介護サービス(送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等)(定員35名)
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料(22年度から)	39,379,000	23,840,000	22,800,000	14,280,000	12,348,000
	料金収入等	69,022,000	80,025,000	79,884,000	86,973,000	90,655,000
	管理経費	108,401,000	103,865,000	102,684,000	101,253,000	103,003,000
決算	委託料(22年度から)	32,401,202	23,840,000	22,800,000	14,280,000	12,334,790
	料金収入等	81,063,370	86,645,509	95,745,533	91,044,310	97,480,102
	管理経費	103,585,106	99,529,206	114,545,533	102,621,667	101,969,339
	収支	9,879,466	10,956,303	4,000,000	2,702,643	7,845,553

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数	日	310	310	311	311
定員	人	35	35	35	35

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率	%	88.0	87.9	87.6	85.3
利用者数	人	9,600	9,542	9,537	9,290

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

毎日の食事アンケートや毎月の懇親会の実施など、利用者ニーズをサービスに反映する仕組みを作り、サービスの向上に取り組んだ。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
                          2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
                          1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[3]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**

S（水準以上）      : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）            : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）      : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）      : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	利用者のニーズをサービスに反映しながら、良好な事業運営が行われている。
(2) 施設の維持管理	A	開設から15年が経過し、経年劣化による修繕が増加しているものの、迅速な対応により適切な維持管理が行われている。
(3) 利用者の満足度	S	利用者満足度調査における、利用者からの評価は概ね良好である。近隣の園児との交流やボランティアの受入れなど、地域との交流も積極的に図られている。
(4) 歳入歳出	A	料金収入等の増額及び管理経費の減額により、収支の改善が図られた。

**10. 総合評価**      良好 妥当 要努力 要改善 不適

**妥当**

サービスの向上に努め、適切な事業運営が行われており、利用者からの評価も概ね良好である。

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

利用者のニーズに沿った施設運営が行われ、利用者の満足度も概ね高い。施設は開設後15年を経過しており、経年劣化による修繕件数が増加しているため、今後も迅速な対応による適切な施設管理を継続していく必要がある。